

保育の質の向上



～子ども達の未来のために～
北区立西ヶ原保育園 久保正子

西ヶ原保育園 概要

- 東京都北区立(公立) * 北区の公立園は全38園(分園4園を含む)
- 昭和40年11月1日開設(定員100名)
- 当初は児童館と保育園の併設施設

⇒待機児童解消のため、児童館部分を保育室に改修し、平成22年4月より0歳児保育を開始

<現在の定員(計114名)>

歳児	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	6	17(21)	19(21)	22	25	25

* 1・2歳児の待機児童解消のため、弾力運用により、現在120名在籍可能

<職員構成(現在 計25名)>

園長(1名)・主任保育士(1名)・保育士(18名)

保健師または看護師(1名)調理師・用務(委託)・非常勤栄養士(1名)

非常勤保育士(3名)・パート職員(保育補助)・嘱託医(1名)

子どもを育てるのは環境

環境を整えれば子どもは自ら育つ力を持つ

子どもが育つうえでもっとも大切な環境は

ひと

**そのため、人材育成研修に
力を入れています**



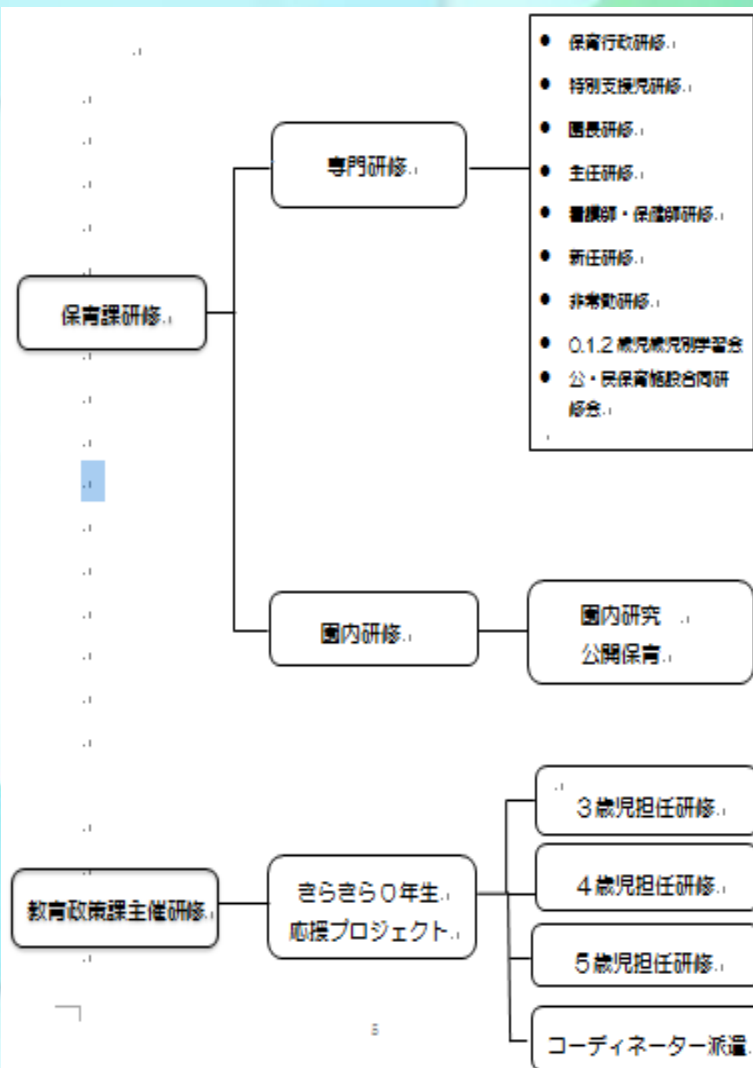
職員研修の全体像

- 職員の資質向上に向け、区が行う研修に加え、関係機関等の様々な研修を効果的に活用し、経験年数に見合った研修への参加を推進し、職場内での研修成果等の共有を図る。
 - 1 特別区研修(新任研修や管理職研修など職層別研修 等)
 - 2 北区人材育成研修
 - 3 北区公立保育園園長会 サービス向上委員会
保育園職員研修部会主催研修
(講演会・歳児別学習会・園内研究・公開保育)
 - 4 北区教育政策課主催研修(きらきら0年生応援プロジェクト)
(3・4・5歳児担任研修・コーディネーター派遣)
 - 5 教育研究会研修 * 幼稚園・小学校との連携研修
 - 6 東京都公立保育園研究会研修 * 勤務時間外の任意の研修

北区保育課主催研修計画

平成30年度
東京都北区
保育課主催研修実施計画

子ども未来部保育課
保育園職員研修部会



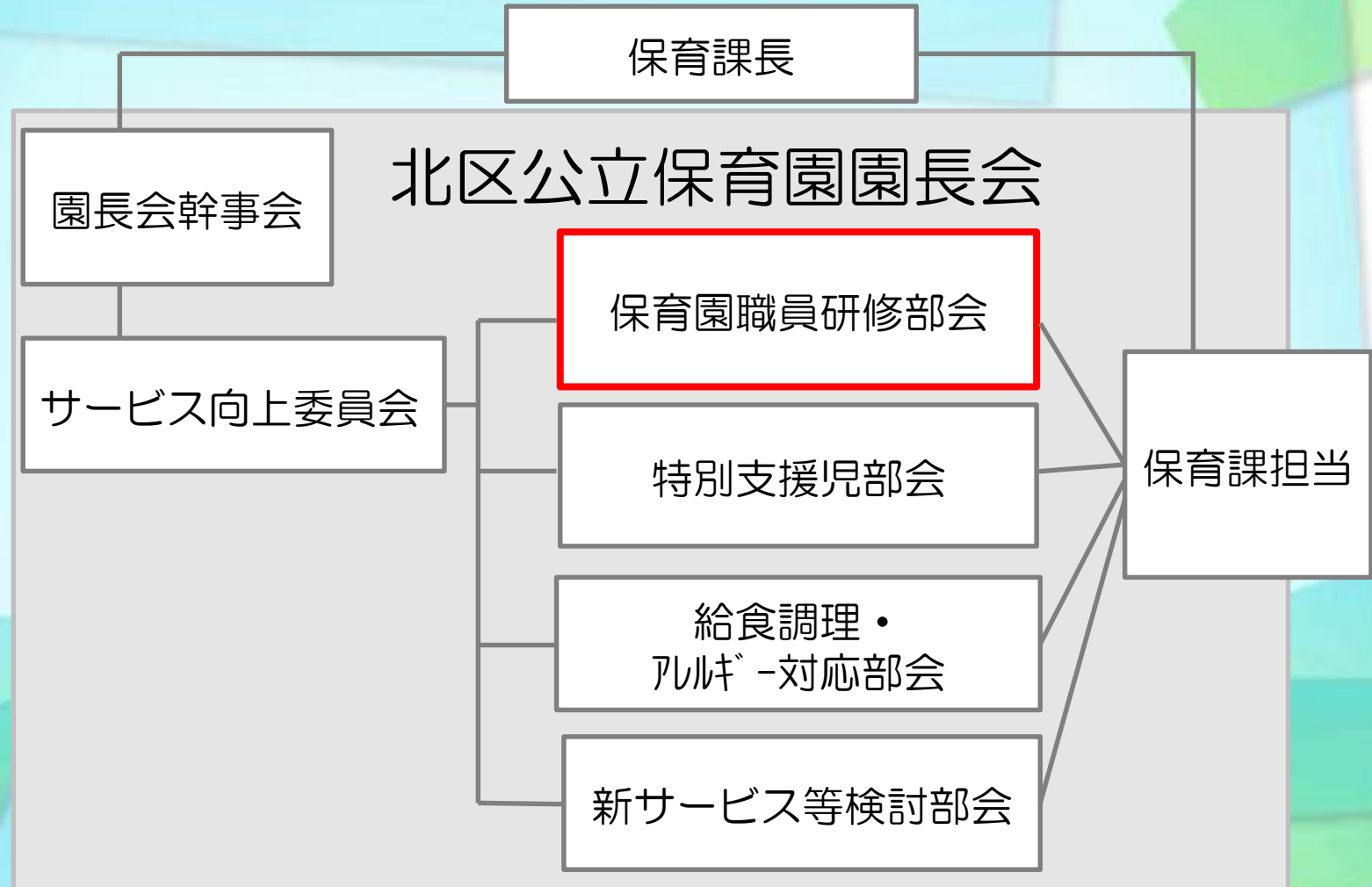
西ヶ原保育園 職員育成研修計画

研修分類	実施する研修	実施する時期	実施する研修名	研修名	備考
1 主事	・基礎的保育実践 ・保育理念の理解 ・保育現場の中で保育士が果たすべき役割を学ぶ ・先達の保育について学ぶ ・保育現場の中で保育士が果たすべき役割を学ぶ	新任研修 新任研修後編 進級研修 保育士育成研修 母子保健研修	新任研修前編 新任研修後編 進級研修 保育士育成研修 母子保健研修	10 主事	・基礎的保育実践 ・保育現場での実践とその対応について ・保育現場の中で保育士が果たすべき役割を学ぶ ・先達の保育について学ぶ ・発達障害児の早期発見と支援 ・異文化交流への対応
2 主事	・基礎的保育実践 ・保育理念の理解 ・保育現場の中で保育士が果たすべき役割を学ぶ ・先達の保育について学ぶ ・保育現場の中で保育士が果たすべき役割を学ぶ	新任研修 新任研修後編 進級研修 保育士育成研修 母子保健研修	新任研修前編 新任研修後編 進級研修 保育士育成研修 母子保健研修	11 主事	・保育実践の向上 ・目指す保育実践の構築 ・基礎的保育実践 ・進級研修 ・発達障害児の早期発見と支援 ・異文化交流への対応
3 主事	・幼児の日常生活の様子を把握して ・アセスメントの対応 ・危機管理 ・食物アレルギー、除去食品について	2年目研修 食生活 2年目研修 幼児保育の基礎 アセスメント 危機管理 アレルギー研修	2年目研修 食生活 2年目研修 幼児保育の基礎 アセスメント 危機管理 アレルギー研修	12 主任主事	・チームとしての役割分担の構築 ・保育実践の向上 ・保育現場での実践とその対応について ・先達の保育について学ぶ ・発達障害児の早期発見と支援 ・異文化交流への対応
4 主事	・幼児の日常生活の様子を把握して ・アセスメントの対応 ・危機管理 ・食物アレルギー、除去食品について	2年目研修 食生活 2年目研修 幼児保育の基礎 アセスメント 危機管理 アレルギー研修	2年目研修 食生活 2年目研修 幼児保育の基礎 アセスメント 危機管理 アレルギー研修	13 主任主事	・自分自身の発達を振り返る ・チームとしての役割分担の構築 ・保育実践の向上 ・保育現場での実践とその対応について ・先達の保育について学ぶ ・発達障害児の早期発見と支援 ・異文化交流への対応
5 主事	・基礎的保育実践 ・保育現場での実践とその対応について ・保育現場の中で保育士が果たすべき役割を学ぶ ・先達の保育について学ぶ ・発達障害児の早期発見と支援 ・異文化交流への対応	保育士育成研修 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活	保育士育成研修 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活		
7 主事	・基礎的保育実践 ・保育現場での実践とその対応について ・保育現場の中で保育士が果たすべき役割を学ぶ ・先達の保育について学ぶ ・発達障害児の早期発見と支援 ・異文化交流への対応	保育士育成研修 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活	保育士育成研修 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活		
				5年目	

研修分類	実施する研修	実施する時期	実施する研修名	研修名	備考
18 主任主事	運動遊び、神経ことば ・自分自身の発達を振り返る ・保育現場での実践とその対応について ・先達の保育について学ぶ ・発達障害児の早期発見と支援 ・異文化交流への対応	保育士育成研修 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活	保育士育成研修 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活	18 主任主事	運動遊び、神経ことば ・自分自身の発達を振り返る ・保育現場での実践とその対応について ・先達の保育について学ぶ ・発達障害児の早期発見と支援 ・異文化交流への対応
18 主任主事	神経ことば ・自分自身の発達を振り返る ・保育現場での実践とその対応について ・先達の保育について学ぶ ・発達障害児の早期発見と支援 ・異文化交流への対応	保育士育成研修 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活	保育士育成研修 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活	18 主任主事	神経ことば ・自分自身の発達を振り返る ・保育現場での実践とその対応について ・先達の保育について学ぶ ・発達障害児の早期発見と支援 ・異文化交流への対応
19 主事	パソコン技術の向上 ・自分自身の発達を振り返る ・保育現場での実践とその対応について ・先達の保育について学ぶ ・発達障害児の早期発見と支援 ・異文化交流への対応	保育士育成研修 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活	保育士育成研修 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活	19 主事	パソコン技術の向上 ・自分自身の発達を振り返る ・保育現場での実践とその対応について ・先達の保育について学ぶ ・発達障害児の早期発見と支援 ・異文化交流への対応
20 職員	・自分自身の発達を振り返る ・保育現場での実践とその対応について ・先達の保育について学ぶ ・発達障害児の早期発見と支援 ・異文化交流への対応	保育士育成研修 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活	保育士育成研修 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活 食生活	20 職員	・自分自身の発達を振り返る ・保育現場での実践とその対応について ・先達の保育について学ぶ ・発達障害児の早期発見と支援 ・異文化交流への対応

組織図

(北区保育課と公立保育園園長会の関係)



北区 新規職員募集人数（福祉）

平成28年度 80名程度

平成29年度 40名程度

平成30年度 45名程度

多くの新規採用者に対し、より一層新人職員の育成に取り組む。

新人育成プログラム（園長会）

新人保育士育成プログラム

期 間	新人保育士	指導担当保育士
Ⅰ期 (4～5月)	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な態度を身につけ実践する。 挨拶（子ども、保護者、職員）・身だしなみ・言葉使い 各園の就業システムを知る。 クラスの子どもの名前や状況を知る。 園の概要を知る（住所、電話番号、開所時間、定員、自園の保育事業等） 施設を知る（保育室、倉庫、教付庫等） 庶務事務システムを使う 組合・連絡・相談（ほうれんそう）を知り、実践する。 安全、衛生に関することを知る（嘔吐物処理、排泄物処理、アレルギー対応、消火器やさすまた・学校110番の位置、不審者の合言葉など） 当番の仕事を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導担当保育士が教える。
Ⅱ期 (6～8月)	<ul style="list-style-type: none"> 仕事の進め方の手順を知る（発着、行事、係） 職員間の連携を知る。 必要に応じて近隣を知る（公園、散歩先、園区、関係公共施設等） 日誌、連絡帳、児童票等の記録をする。 <p><前期振り返り></p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導担当保育士がアドバイスをし、一緒に進める。
Ⅲ期 (9～12月)	<ul style="list-style-type: none"> 行事のサブや自分の役割分担を担う。 指導計画を立案してみる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導担当保育士がアドバイスをする。
Ⅳ期 (1～3月)	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の振り返り。 当番ができるようになる。 日誌や連絡帳・児童票の記録ができるようになる。 庶務事務入力ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導担当保育士、主任、園長が相談相手になる。

- ※ プログラムはあくまでも「めやす」ですので各園で運用してください。
- ※「公務員」としての研修は全体研修で行われるので、保育園職場での「保育士」としての育成内容としました。
- ※「指導担当保育士」とは同じクラスの保育士、年齢（経験年数）に近い保育士、主任保育士など各園の状況により園長が決定します。
- ※振り返りは「振り返りシート」を活用してください。前期、後期に利用してもよいと思います。

振り返りシート（指導担当職員）

1.	新人職員に理解してもらおうとどのような指導方法をとりましたか。	
2.	どのような成果がありましたか。	
3.	新人育成として今後どのような事と思いますか。	
4.	その他	

振り返りシート（新人職員）

1.	仕事で楽しかったこと、楽しかったこと、やりがいを感じたことはどんなことですか。	
2.	子どもの成長を感じたところ（場面・状況・姿など）はどんなところですか。	
3.	どのようなことに難しさや不安を感じましたか（保育のこと、人間関係等）。	
4.	質問3についてどう解決しようと思いましたか。	
5.	今後どのようなことを指導してほしいですか。	
6.	その他 ご自由にお書きください。	

新人育成計画（各園での活用例）

新人保育士育成計画表

（目標）子どもの成長を喜び保育の仕事にやりがいを感じる。

ねらい	Ⅰ期（4～5月） ・挨拶を知る。	Ⅱ期（6～8月） ・担任としての自覚が芽生え ・挨拶に取り組む。	Ⅲ期（9～12月） ・担任として自覚を持ち、挨拶 に取り組む。	Ⅳ期（1～3月） ・担任として積極的に挨拶に取 り組む。
園内	<input type="checkbox"/> 園の施設の概要を知る。 <input type="checkbox"/> 園の就業システムを知る。 <input type="checkbox"/> クラスの子どもたちの名前を知る。 <input type="checkbox"/> 挨拶を交わす。（子ども・保護者・職員） <input type="checkbox"/> 挨拶事務システムを使う。 <input type="checkbox"/> わからないことを聞く。最終確認する。 <input type="checkbox"/> 「ほうれんそう」を知り、実践する。 <input type="checkbox"/> リーダー・サブ・雑務の仕事を知る。 <input type="checkbox"/> 当番の仕事を行う。 <input type="checkbox"/> 必要物の任りがわかる。 保育用品・教材・消耗品・給食費・消火器 など <input type="checkbox"/> 北区の保育事業の内容を知る。	<input type="checkbox"/> 仕事の進め方の手順を知る。 各部署の参加の仕方。 行事の取り組み方。 係の仕事。 職員間の連携。 <input type="checkbox"/> 日記・連絡帳の記入をする。 児童票の記録をする。	<input type="checkbox"/> 指導計画の立案。 <input type="checkbox"/> 行事の司会、サブの担当。	<input type="checkbox"/> 振り返り。 何がわからないのが、 不安なこと、 心配なこと。 ↓ <input type="checkbox"/> 3月末までに解決。 <input type="checkbox"/> 「ほうれんそう」が確実に身 につく。 <input type="checkbox"/> リーダーとして保護者対応 をしてみる。
指導のポイント	<input type="checkbox"/> 保育の基本姿勢。 <input type="checkbox"/> 挨拶事務システムの入力の仕方。 <input type="checkbox"/> 当番の仕事の内容。 <input type="checkbox"/> 日記・連絡帳の記入の仕方。 <input type="checkbox"/> 公園別ヒヤリハットを知らせる。 <input type="checkbox"/> ②指導担当保育士が教える。 <input type="checkbox"/> ②指導担当保育士を見て学ぶ。	<input type="checkbox"/> 全記録の書き方。 <input type="checkbox"/> 児童票の記録の仕方。 （連絡帳については指導担当保 育士が確認をしていく。） <input type="checkbox"/> ②指導担当保育士が一対一に進 める。	<input type="checkbox"/> 指導計画の作成の仕方。 <input type="checkbox"/> 行事記録の参照の仕方。 <input type="checkbox"/> ②指導担当保育士がアドバイ スする。	<input type="checkbox"/> ②指導担当保育士・主任・園 長が相談相手になる。
振り返り				
園長				

公開保育・協議会を 組み合わせて行う園内研究



他園の職員が保育を参観し、良いところ、工夫が必要なところを見出し、午睡時の協議会で意見交換を行う。その際、外部講師からも助言を受ける。

(近隣の保育園同士が2園1組で年度ごとに交代して実施)

各保育園独自の園内研究

- 園内研修は、保育園独自のものを毎年行う園、公開保育を行わない年に実施する園など様々。
- その年のテーマ・ねらいを決めて、保育園ごとに職員全体で取り組む。
- 学んだことや変化の様子については、前述の園内研究と同様に環境シートに記録し、保存など園によって工夫している。

園内研究 保育環境シート1歳児

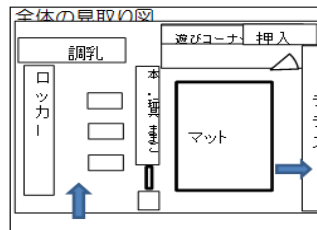
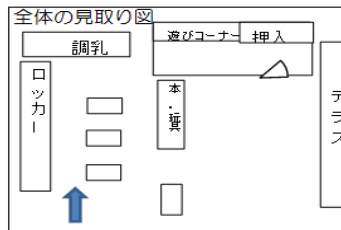
保育環境シート

(場所) 1歳児保育室

コーナー

H28 年度

<p>現状(問題点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーナーが充実しておらず、じっくりと遊び続けることが難しい。(玩具の置き場をどうするか、仕切りがないなどの問題) <p>5月 30日</p>	<p>解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・押入れの中の一部を遊びのコーナーにする。 ・ほふく室で、身体を動かせるもの(箱くま・タイヤや紙バックの巧技台)の設置 ・可動の仕切りドアを設定する。 ・ままごとコーナーを常設する。 <p>7月13日</p>	<p>その後の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕切られていることで、じっくり遊べるようになる。 ・常設したことで好きな時に好きなように遊べるようになる。 <p>11月13日</p>
--	--	---



デジカメ写真など



デジカメ写真など



園内研究で学んだことを環境シートに記録すると共に、3か月後に変化した様子を配置図や写真を通して見ることで学びにつなげる。

これらの各園の研究は保育課共通フォルダに格納され、他園のものも共有できる仕組みとなっている。

保育環境シート		29 年度	
(場所)	0歳児室	コーナー	担当
現状 (問題点)	解決策	その後の様子	
<ul style="list-style-type: none"> 長時間保育への配慮 発達に合った遊びのスペース アレルギー児が早く食事を終えた際に、他児の食後ごぼしに飲めない環境設定 	<ul style="list-style-type: none"> くつろぎのスペースを作り、疲れた時には休憩がれるようにする。 食卓の間の机の動かしやすさ 再確認し、ほふく垫を適用する。 目録書によって遊びが分けられるよう、室内を分ける工夫をする。 垫はめなどひとりで遊びをずる場所を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 出入口のどこの机・椅子を配置換えすることにより、動線が良くなった。 子ども達の遊びがそれぞれのコーナーで楽しめるようになった。 食事の介助も大人の動きの無駄を少なくすることが出来、遊びの部分を広げられるようになった。 	
H29年6月	H29年11月15日	H29年11月	
<p>(デジカメ可)</p>		<p>(デジカメ可)</p>	
デジカメ写真など		デジカメ写真など	
備考 (次回に向けて)			
園長印			

保育環境シート		H29 年度	
(場所)	1歳児保育室	コーナー	担当
現状 (問題点)	解決策	その後の様子	
<ul style="list-style-type: none"> コーナーが充実しておらず、じっくりと遊び続けることが難しい。(玩具の置き場など不足が、仕切りがないなどの問題) 	<ul style="list-style-type: none"> 押入れの中の一部を遊びのコーナーにする。 ほふく垫で、身体を動かせるもの(積木・タイヤ)や紙パックの巧技台の設置 可動の仕切りドアを固定する。 床まごとコーナーを完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕切られていることで、じっくり遊べるようになる。 完成したことで好きな時に好きなように遊べるようになる。 	
2017年 3月 30日	2017年 6月13日	2017年11月13日	
<p>(デジカメ可)</p>		<p>(デジカメ可)</p>	
デジカメ写真など		デジカメ写真など	
備考 (次回に向けて)			
園長印			

保育環境シート

29年度

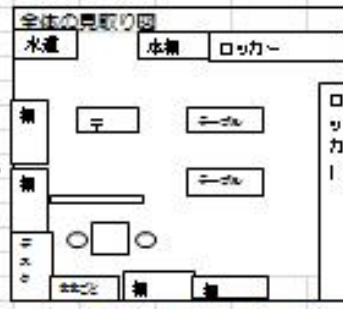
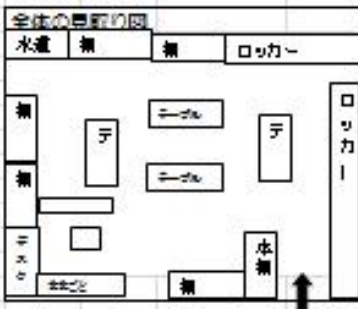
2歳児きりん組 (場所)	保育室	コーナー	担当
現状 (問題点) ・遊びのコーナーを区切り、 個々の遊びを確保するがそれ ぞれの遊び (ブロック・井形ブ ロック・汽球など) が混ざって しまうことがある	解決策 ・玩具棚や仕切りを移動し、マット 部分にそれぞれの遊びのコーナーを 作り、それぞれの遊びの場所を確保 する	その後の様子 ・それぞれのコーナー遊びが、深 まり、子ども同士やりとりも多 く見られるようになった。 ・アレルギーの子が、離れてい たため、互いに目を合わせて、食 事が楽しめるようになった。	
2017年 10月 30日	2017年11月17日	2018年2月	



保育環境シート

29年度

(場所) 3歳児	室	コーナー	担当
現状 (問題点) ・本棚の向きが入口側のた め、入口が遊び場になってしま う。 ・デスク脇の本棚のところ が、コーナーとしてうまく使え ていない。 ・導線 (生活) を邪魔しない ように設定すると場所がいつ も同じようになってしまう。	解決策 ・本棚を水運箱に設置し、 玩具棚を壁に平行に置いた ⇒遊びの場が部屋の真ん中 になりコーナーを設置しやす くなった。 ・ままごとコーナー脇に、 ついたてを置くことで、自 分たちの空間をつくれるよ うになった。	その後の様子 絵本を楽しむスペースが確保 できじっくり楽しめるよ うになった。	
平成29年5月31日	29年11月13日		



歳児別学習会

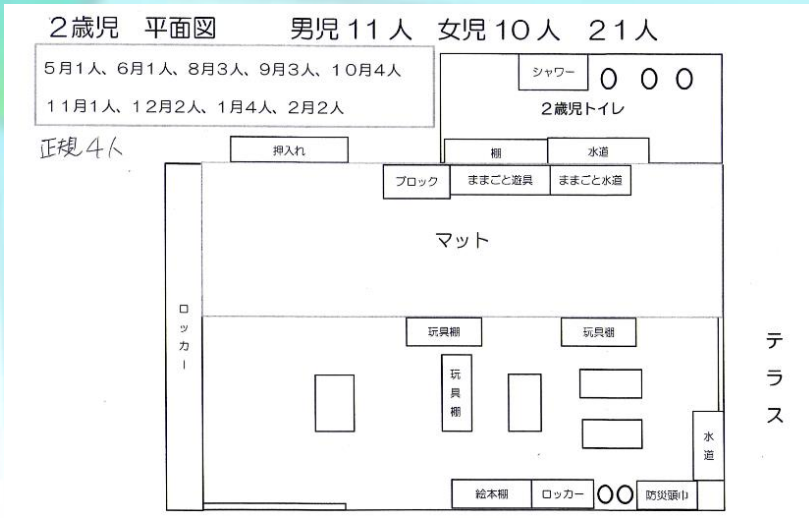


各園の0歳児担任が集まり、代表園の保育のビデオを見て、年齢の発達が見られる場面とその支援が見られる場面・課題と思われる場面などについてグループ討議し、外部講師から助言を受ける。1歳児・2歳児も同様に実施。

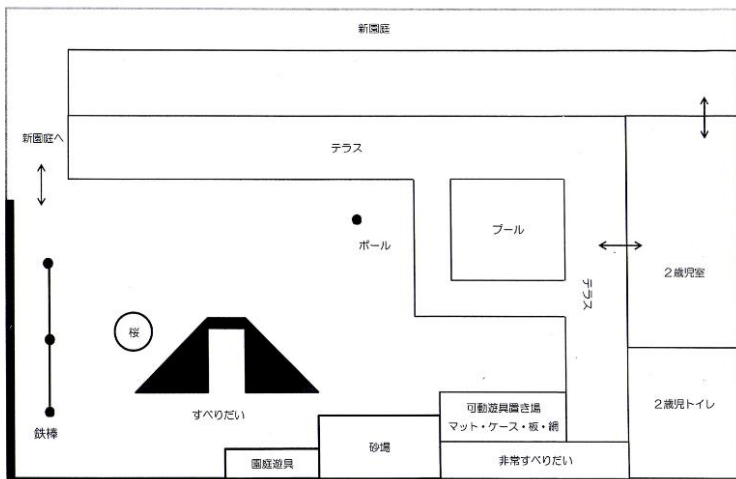
受講報告：1週間以内及び
3か月後取り組みの成果提出

歳児別学習会

動画とこの配置図を見て、動線・遊びの展開について学ぶ資料とする



平成29年度 歳児別学習会 2歳児 園庭環境図 2歳児：21名



0, 1, 2歳児歳児別学習会研修報告書 歳 (実施日 年 月 日)

平成 年 月 日

園名 _____

氏名 _____ 歳児担当

<受講報告>

- 1 研修を通して学んだこと
- 2 自分がすぐに行えることやクラス、園として取り組みたいこと課題

研修終了後7日以内に園長、主任に報告してください。 園長氏名 _____
主任氏名 _____

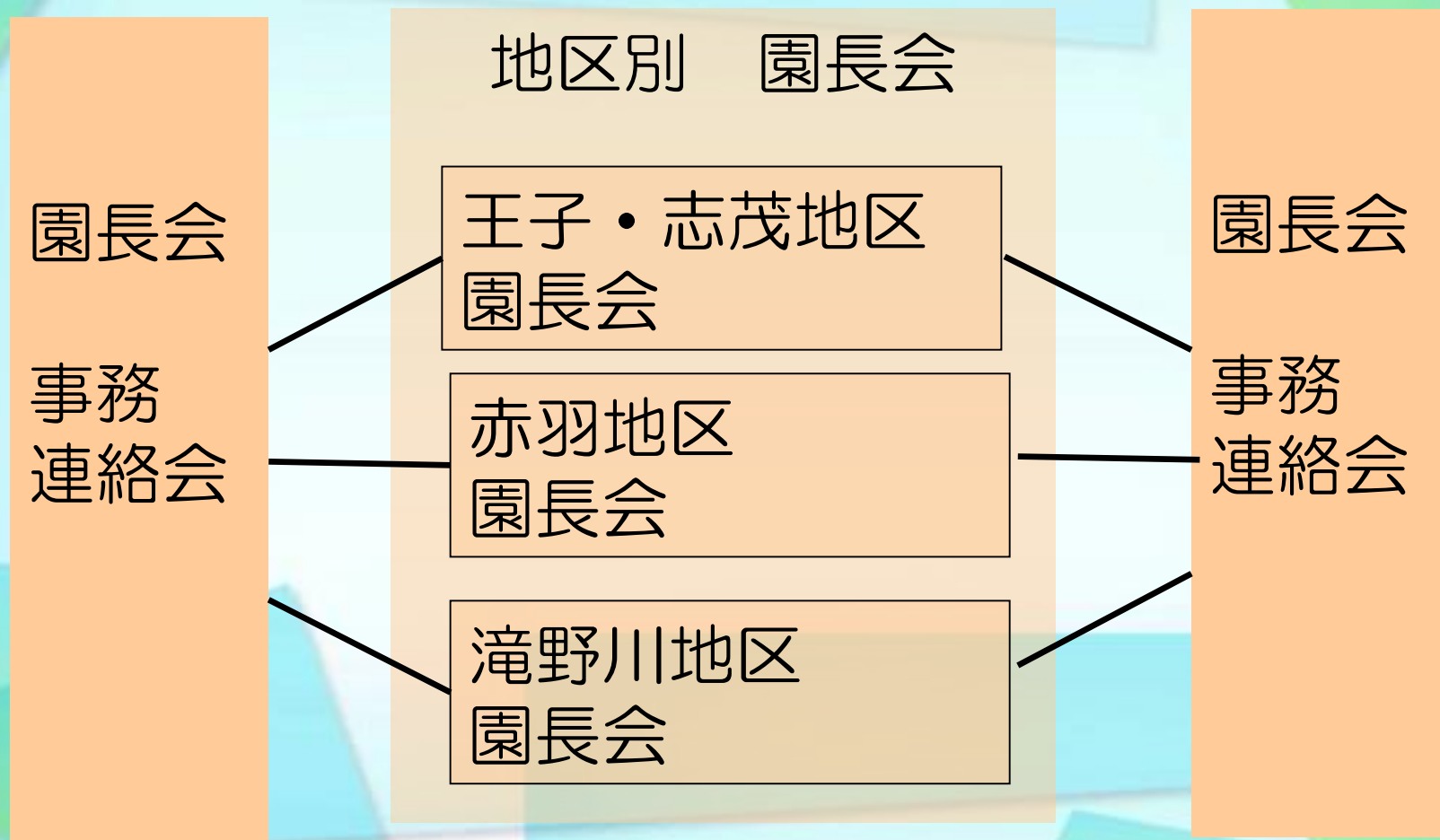
<受講後のふりかえり>

- 1 取り組みの成果と評価、反省
- 2 主任としての関わりと評価反省
- 3 園長より

提出年月日 年 月 日

研修終了後3か月以内に、保育係高津まで提出して下さい。

園長会 組織図



地区別園長会



王子志茂・赤羽・滝野川
3つの地区別園長会の中で
情報共有する。



研究保育（公開保育）
失敗事例（怪我・事故・
保護者対応など）

更に園長会で全園に共有。

資質向上に関する地域全体の連携

園長会主催

公民合同
講演会

特別支援児
研修

教育政策課
研修

教育
研究会

近隣区にも呼
びかけ(文京・荒
川・台東・板橋区)

私立園・小規模保育・
家庭福祉員・認証保
育園等の呼びかけ

小学校・幼稚園と
共に実施

保育園・幼稚園・小学校連携

- 幼児期の教育の重要性を踏まえ、幼児教育の質の向上を図り、その後の教育の基礎を培うことを目的としている。
- 北区の幼児すべてが充実した教育を受け、家庭・地域とも連携し、発達と学びの連続性を踏まえた小学校生活との円滑な接続を目指す。

子どもがじっくりと遊ぶことが出来る環境を整えて保護者とともに寄り添い、そしてひとり一人を大切にした保育を展開できる保育園を目指していききたいと思います。

**みなさんご清聴
本当にありがとうございました**

